

小学校の先生へ

平成31年度 東京都立中等教育学校及び 東京都立中学校入学者決定の報告書の作成について

東京都立中等教育学校及び東京都立中学校に提出する報告書は、東京都所定の用紙（様式3）により、次の要領で作成をお願いします。1から8までの項目についてそれぞれ必要事項を記入し、記載者の私印及び小学校の校長の公印を押してください。作成後、厳封の上、志願者に渡してください。

<報告書の作成について>

1 「学籍の記録」欄
(1) 児童氏名・フリガナ 児童氏名の文字は、住民票に記載されているものを使用する。ただし、住民票に記載されている文字が常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）外字の文字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し支えないが、入学願書、受検票及び報告書の表記は統一すること。 （例：澤一沢、邊一辺）
(2) 転入学等 小学校に転入学又は編入学した志願者については、転入学等の欄に転入学等の年月及び前在籍校名を記入する。該当のない場合は、斜線を引く。
2 「各教科の学習の記録」欄
(1) 観点別学習状況 小学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第27号）に示された各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により記入する。この場合、「十分満足できる状況と判断されるもの」をA、「おおむね満足できる状況と判断されるもの」をB、「努力を要する状況と判断されるもの」をCとする。
(2) 評定 各教科の学習の状況について、小学校学習指導要領に示された各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し、3、2、1の3段階で記入する。この場合、「十分満足できる状況と判断されるもの」を3、「おおむね満足できる状況と判断されるもの」を2、「努力を要する状況と判断されるもの」を1とする。
3 「総合的な学習の時間の記録（第6学年）」欄
小学校学習指導要領に示された目標に基づき、第6学年の総合的な学習の時間に行った学習活動及び各学校が定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点について、児童の学習状況の特徴的な事項を記入するなど、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。
4 「外国語活動の記録（第6学年）」欄
小学校学習指導要領に示された目標に基づき、設置者及び小学校が定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点に照らして児童の学習状況の特徴や児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。
5 「特別活動の記録」欄
第5学年と第6学年の特別活動における児童の活動について、内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。
6 「行動の記録」欄
第5学年と第6学年の各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、項目ごとにその学年別の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

7 「出欠の記録」欄

出欠の記録の第5学年の欄には、第5学年の4月1日から3月31日までの期間について、第6学年の欄には、第6学年の4月1日から12月31日までの期間について、以下のように記入する。

(1) 出席しなければならない日数

授業日数から出席停止・忌引等の日数を差し引いた日数を記入する。

(2) 欠席日数

出席しなければならない日数のうち、病気又はその他の事故で児童が欠席した日数の合計を記入する。

8 「総合所見」欄

児童の成長の状況を総合的に捉えるため、以下のような事項などを記入する。

(1) 各教科や外国語活動、総合的な学習の時間の学習に関する所見

(2) 特別活動に関する事実及び所見

(3) 行動に関する所見

(4) 児童の特徴や特技、学校内外におけるボランティア活動等社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動に関する所見

(5) 児童の成長の状況に関わる総合的な所見

<報告書作成上の留意点>

(1) 小学校卒業見込者については、志願者が在学している小学校の教職員が記載者となる。

(2) 記載者以外の複数の教職員が小学校児童指導要録と照合し、確認する。

(3) 報告書の作成に当たっては、原則として小学校児童指導要録の記入方法に従うものとする。

(4) 第5学年の欄については、小学校児童指導要録に基づいて記載する。

(5) 第6学年の欄については、第一学期及び第二学期の評価等を十分参考として平成30年12月31日現在における児童の評価等を記載する。

(6) 字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする（4ページ参照）。

(7) 小学校長は、次のア、イ又はウの場合、報告書の一部を作成しなくてもよい。

ア 平成29年4月1日以降帰国し、現地校から編入学した者については、報告書の所定の欄のうち記入できる事項についてのみ記入する。各教科の学習の記録欄への記入又は現地校の成績資料の写しの添付が不可能な場合は、記入できない欄についてその旨を明らかにした理由書（様式任意）を提出する。

イ 小学校の、全ての教科を特別な教育課程により実施している特別支援学級（固定）在籍者については、報告書の所定の欄のうち記入できる事項のみ記入し、記入できない欄については斜線を引く。この場合、不足する記録に関わる資料の写しを提出する。

ウ 出席日数が少ないため、参考にできる資料等を活用しても観点別学習状況の評価を行うことができない場合、また、評定を行うことができない教科がある場合、報告書の所定の欄のうち記入できる項目についてのみ記入する。

この場合、小学校長は記入できない欄についてその旨を明らかにした理由書（様式任意）を提出する。

(8) 記載後、記載者は私印を押し、当該小学校長は報告書の記載内容を確認の後、公印を押し内容を証明する。

<報告書記入例及び記入上の留意点>

※ 網掛けの欄は、記入の誤りや記入漏れが多く見られる箇所です。必ず御確認ください。

報告書						※ 受検番号				
(注意) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。 ②※印の欄には記入しない。						該当のない場合は斜線を引く				
学籍の記録	フリガナ	シン ジュク タ ロウ			性別	年 月 編入学				
	児童氏名	新宿太郎			男	小学校から転学				
	生年月日	平成18年 9月 19日生			卒業見込	平成31年 3月 卒業見込				
各教科の学習の記録						外国語活動の記録(第6学年)				
観点別学習状況						観 点				
教科	観 点	5年	6年	5年	6年	評 定				
国語	国語への関心・意欲・態度	A	A	3	3	観 点				
	話す・聞く能力	A	A			①言語や文化についての体験的な理解 ②コミュニケーションを図ろうとする態度 ③外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ				
	書く能力	A	A			①近隣大学の留学生との交流会で、国ごとに食事や服装などの文化が違うことを体験的に理解した。 ②道案内をする活動で、ジェスチャーを交えながら相手に伝わるよう積極的に目的地への行き方を説明した。 ③A L Tの話す英語の簡単な単語や基本的な表現を繰り返し練習したことにより、英語で表現する面白さに気付くことができた。				
	読む能力	A	A							
社会	言語についての知識・理解・技能	B	B	3	3	評 価				
	社会的事象への関心・意欲・態度	A	A			特別活動の記録				
	社会的な思考・判断・表現	B	A			行 動 の 記 録				
算数	観察・資料活用	A	A	3	3	内 容				
	社会的な事象についての知識・理解	A	A			評 価				
	算数への関心・意欲・態度	A	A			5年	6年	項 目	5年	6年
	数学的な考え方	B	B			5年	6年	基本的な生活習慣	○	○
理科	数量や図形についての技能	A	A	3	3	学級活動				
	数量や図形についての知識・理解	A	A			健康・体力の向上				
	自然事象への関心・意欲・態度	A	A			児童会活動				
	科学的な思考・表現	B	B			自主・自律				
音楽	観察・実験の技能	A	A	2	3	クラブ活動				
	自然事象についての知識・理解	B	A			責任感				
	音楽への関心・意欲・態度	B	A			創意工夫				
	音楽表現の創意工夫	A	A			思いやり・協力				
家庭	音楽表現の技能	B	B	2	3	学校行事				
	鑑賞の能力	B	A			生命尊重・自然愛護				
	家庭生活への関心・意欲・態度	A	A			勤労・奉仕		○	○	
	生活を創意工夫する能力	A	A			公正・公平				
体育	生活の技能	B	B	2	2	公共心・公德心				
	家庭生活についての知識・理解	B	B							
	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	A	A							
	運動や健康・安全についての思考・判断	A	A							
総合	運動の技能	A	A	3	3	出欠の記録				
	健康・安全についての知識・理解	A	A			出席しなければならない日数		207	155	
	鑑賞の能力	B	B			欠 席 日 数		0	0	
	総合的な学習の時間の記録(第6学年)	総合 所 見								
学習活動	・社会的な事象について、根拠を明確にしなが筋道を立てて、自分の考えを発表することができた。 ・代表委員会委員長として、話し合いを円滑に進行し、自分たちの学校生活の充実に努めた。 ・清掃当番や給食当番など、級友と協力して活動し、最後まで丁寧にやり終らした。 ・読書感想文コンクールでは、学校代表として選ばれ区で入選し表彰された。 ・学習では積極的に発言し、自分の考えを表出するとともに、級友の意見を聞き、自分の考えを更に広げることができた。									
観点	①体験活動などを通して、地域の課題解決について計画的に考えることができる。 ②必要な情報を収集し、整理することができる。 ③地域の課題解決のために、主体的に考えることができる。 ④地域をより良くするために行動したりする。									
評価	①体験活動などを通して、能楽の歴史を調べ、地域の課題を設定し、解決についての計画を立てることができた。 ②能楽について体験したことや調べたことを比較したり、関連付けたりして、情報を整理することができた。 ③地域の伝統文化や伝統芸能に携わる人を訪問して聞き取りを行い、学級で意見交換をして、自らの考えを深めた。 ④地域の伝統文化や伝統芸能に触れ、体験したことを通してまとめた課題について、その解決方法や自分たちができることを地域の方々に向けて分かりやすく発表することができた。									
上記記載事項に相違ありません。						平成30年12月31日以降に作成した日付を記入する				
記載者氏名						平成 31年 1月 7日				
学校所在地						〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1				
電話番号						03(5320)6745				
フリガナ						シンジュクチュウウ				
学校名						新宿区立新宿中央小学校				
校長名						東京花子				
学校コード						204990				
(注意) 学校コード欄には、都内の公立学校の公立学校統計調査に使用する6桁の番号を記入する。						郵便番号、所在地、電話番号、フリガナ、学校名の記入を確認する。				

都内の公立学校のみ公立学校統計調査に使用する6桁の番号を記入する。

Q & A

Q1 報告書はパソコンで作成してもよいのですか。

A1 報告書は、パソコン又は手書きによる作成ができます。パソコンで複数の受検者の報告書を作成する際、性別や生年月日等が他の児童のものにならないよう留意し、作成後は、必ず管理職を含む複数の者で御確認ください。「報告書作成のためのチェックリスト」も併せて御活用下さい。

Q2 報告書の作成年月日は、任意の年月日でよいですか。

A2 第6学年については、第一学期及び第二学期の評価等を十分参考にして平成30年12月31日現在における児童の評価等を記入します。したがって、報告書の作成年月日は、平成30年12月31日以降となります。

Q3 学校コードは、すべての小学校が記載するのですか。

A3 東京都公立小学校のみ記入します。学校コードは、東京都教育委員会のホームページで調べることができます。
[東京都教育委員会ホームページ](#) > [学校一覧](#) > 平成30年度東京都公立学校一覧
 で御確認をお願いします。

Q4 押印はすべて公印を用いるのですか。

A4 記載者は私印、校長は公印を押印します。両方が押印されていることを必ず確認してください。

Q5 訂正がある場合は、どのように記載すればよいですか。

A5 訂正箇所を二重線で消し訂正事項を記入し、校長私印を押印します。
 余白に「〇〇字削除 〇〇字加入」と訂正字数を明示し、公印を押印します。

<例> 校長私印（記載事項に重ならないように押印）

B	A	私印	3	学校行事	0	勤労・奉仕	0	0
A	A					公正・公平		
B	B	2	2			公共心・公徳心		
B	A			出席の記録	出席しなければならぬ日数	207	254 /155	私印
A	A				欠席日数	0	0	
A	A	3	3	総合所見				
A	A							

校長名 東京花子 公印 公印

学校コード 204990
(注意) 学校コード欄には、都内の公立学校のみ公立学校統計調査に使用する6桁の番号を記入する。

5字削除 公印
 5字加入

余白に削除・加入字数を明示
 校長公印（「校長名」の公印とは別に押印）